

瀬戸市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(案)
に対するパブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和6年1月9日(火)から令和6年2月8日(木)まで

2 意見提出人数

1人

3 意見件数

4件

4 意見への対応

A 意見を踏まえて、案の修正をするもの	0	件
B 意見の主旨や内容を盛り込み済みであり、考え方を説明するもの	0	件
C 今後の事業実施の参考とするもの	2	件
D その他(本計画案に対する意見でないもの)	2	件

5 ご意見と回答

別紙「瀬戸市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(案)についての意見と市の考え方」のとおり

瀬戸市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(案)についての意見と市の考え方

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方	対応の 類型
1	-	他市のごみ処理施設では、ごみ焼却熱を利用した発電、温水プール並びに場内の見学、市民が利用できる会議室、環境啓発のための実験室、図書や資料展示があり、年間を通して環境啓発イベントが開催され、環境保全を意識した取り組みがなされている。 瀬戸地域において、将来ごみ処理施設を更新される際には、参考にされたい。 他市の小学校等では、海岸清掃が行われており、自治体による子供達への環境保全の意識づけの姿勢が感じられる。	環境啓発を通じた取り組みは、温室効果ガス排出量削減に繋がる重要な施策であると考えています。 今後の施策の参考とさせていただきます。	C
2	-	他市では、鉄道の立体交差事業や信号機の変更(押しボタン式の歩車分離に変更)など、渋滞緩和策が進められている。 瀬戸市の菱野トンネルから陶生病院に向かう道路は、左折時に横断歩行者等によって車の流れが滞り、渋滞が激しい。他にも左折時の渋滞が目立つ。 信号交差点を歩車分離とすることで渋滞の緩和になり、交通渋滞による排出ガス削減に繋がるのではないかと。	交通渋滞の緩和は、温室効果ガス排出量削減に効果的な対策であると認識しております。 今後の施策の参考とさせていただきます。	C
3	-	瀬戸市は環境保全に対する意識が低いと思う。 瀬戸川は、窯業関係の工場からの排水で白く濁っていることが多い。排出基準を下回っているかもしれないが、排水を公共の水路に流すのはいかがなものか。	貴重なご意見として承ります。	D
4	-	瀬戸川河川敷は、お菓子等の食べ物の容器類、コンビニごみが目立つ。 学校教育の場において、河川のごみ拾いを授業に取り入れる等の環境保全意識向上の取り組みが必要と考える。	貴重なご意見として承ります。	D